



人権と向きあう

— 違いを認めあうために —

障害がある人

外国人

ハンセン病

部落問題

企画意図

人権とは、人が生まれながらにしてある権利ですが、その権利が尊重されずに様々な問題が起こっているのが現実です。人権を尊重するとは、相手との「違い」を認め、互いに理解することではないでしょうか。それには、まず、相手との「違い」を知るということが重要です。人は、知らないことによって、無自覚に差別してしまうことがあるからです。「違い」を知った次に重要なのは、その知識を基に自分で考えるということです。当然ながら、私たちは、一人では生きていけません。ですから、自分の事を大切に考えるのはもちろんですが、相手のことも大切に考えられるようになることが重要です。このビデオは、現存する人権的な問題を知ってもらい、人権に向きあってもらうきっかけになることを目指して企画しました。

上映時間 28分 [C#3105]
ビデオ版 81,900円(本体 78,000円)
字幕版あり [C#3106]

